

Time Sphere Symposium

時間のものさしシンポジウム

2024.7.17 (Wed) 13:00-



[参加無料] zoom ウェビナーでご視聴ください

私たちはヒトとサンゴを軸に、超学際研究を進める中で、生き物や物質が持つ多様なリズムや時間のスケールに気づきました。自然環境や生命のサイクル、アートに流れる時間のスケールなど、それぞれ独自の「時間のものさし」を持っています。

SceNE プロジェクトでは、多様な科学分野とアート、地域が交わる中で、「時間」と「空間」を合わせることで、情報の比較と理解ができることを発見しました。本シンポジウムでは、参加者間で、各分野における時間のものさしを知り、異なる時間の感覚を共有し、新たな知見と理解を深めます。

13:00-

渡邊剛 (プロジェクトリーダー・サンゴ礁地球環境学)
『SceNE プロジェクトと時間のものさし』

13:10-

Chuan-Chou Shen (Distinguished Chair Professor National Taiwan University)
『Unveil the mystery of Nan Madol, the Venice of the Pacific, and the faded dynasty』

13:50-

佐野有司 (地球化学)
『時を測る - 生命誕生に関わる年代測定』

14:20-

中塚武 (樹木年輪年代学)
『何が日本の夏の水環境を決めているのか？ - 樹木年輪とサンゴ年輪の対比から分かること -』

14:50-

山崎敦子 (サブリーダー・サンゴ礁古海洋学)
『サンゴの時間窓を覗く』

15:20-

藤枝守 (作曲家)
『時間のアーカイブとしてのサンゴ骨格』

16:00-

後藤明 (文化人類学)
『人類史における時間：暦と時間サイクル』

16:30-

石川仁 (探検家)
『古代船に学ぶ時間：アナログとデジタルと行き来する草舟』

17:00-

宮崎玲奈 (劇作家・演出家)
『舞台芸術における時間の限定と拡張』

17:30-

重定菜子 (メディア・XR)
『時空を超える一体感：メディアとテクノロジーの新しい役割』

18:00-

松田素二 (アフリカ研究)
『多様な時間観念のコンヴィヴィアルな関係』

19:00-21:00

パネルディスカッション
超学際「時間のものさし」ナイト